

氏名	河 野 光 信
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1314 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和57年 9 月 30 日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学 位 論 文 題 目	手根溝の構築についての研究
論 文 審 査 委 員	教授 村上宅郎 教授 寺本 滋 教授 折田薫三

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

屍体より 8 つの手および前腕を採り、手根部の骨性構築を保ったまま樹脂に包埋した。第 3 中手骨軸に垂直な面で連続切片を作り、超軟 X 線で撮影し、骨の形状、手根溝の幅と断面積、骨梁について検討した。

骨性構築より手根部は 6 つのレベルに分けられる。手根骨の連結は、凹凹、平面、凹凸、凸凸接合の 4 つがみられた。手根部の掌・背側アーチはレベルによって変化しており、掌側でアーチは中枢から末梢までに尺側に偏位してふくらみをもってくる。手根溝の幅は尺側の骨が有鉤骨になる部で狭くなり、断面積は手根溝の中間部で広い。従って手根管症候群は、手根管の容積とその内容物の体積の不均衡から発症すると考えられる。手根溝に沿って各手根骨を連なるように走る骨梁があり、H. Trieppe の調和説に合致するものと考えられる。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は手根溝を立体構築学的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった機能との関連を論証したものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。